

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	34,375	35,834	36,994	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものと（千葉県健康福祉部）※値はH30年、R1年、R2のもの	1.67(※)	1.59(※)	1.55(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思ふ市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	57.7	60.2	70.2	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 令和3年4月1日現在、国基準で待機児童ゼロを達成しました。おおたかの森児童センターが令和3年4月1日に開設しました。令和3年度、認可保育所をおおたかの森地区を中心に8箇所を整備し740名の定員増を図りました。また、小規模保育事業所は、おおたかの森地区に1箇所を整備し18名の定員増を図りました。子どもの見守りや家庭の支援が行われるよう関係機関等の研修会に参加し本市の取り組み等を説明しました。</p> <p>・評価 令和3年4月1日現在、国基準で待機児童ゼロを達成しました。保育所整備では、概ね予定どおりの整備を行いました。児童虐待の発見や支援につながるよう、関係機関の会議や研修会に参加し共通認識を深めました。</p> <p>・改善点 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を縮小するなど大きな影響が発生しましたが、事業内容を見直すなどして事業を実施しました。一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育などの保育所整備を進めていく必要があります。</p>	<p>・現状 18歳未満人口は、令和3年4月時点で36,994人と対前年度1,160人増となりました。流山児童センターは、令和4年度、引き続き本体工事を実施し、令和4年12月の開設に向け準備を進めます。保育所整備は、認可保育所6箇所、小規模保育事業所は1箇所整備する予定です。児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向が続いています。</p> <p>・課題 子育て世帯の増加などにより、今後も保育需要が増加すると見込まれます。妊娠から子育て期にわたり、切れ目ないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりが必要です。増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。</p> <p>・取組内容 令和4年度は、新たな児童センターとなる南流山児童センターを令和4年12月に開設することを目指し、子どもの居場所づくりと子育て家庭をサポートする環境の充実を図ります。安心して子育てができるよう児童手当等の定められた経済支援を適正かつ正確に行います。また、ひとり親家庭等に対して、自立した生活を送るために必要な情報提供及びサポートを行います。児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実及び関係機関との連携強化を図ります。</p>

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

児童館・児童センター整備事業	児童の健全な遊びの場を提供するため、令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に、子育て支援施設（児童センター及び子育て世代活動支援センター）を整備します。なお、同施設に一体の複合施設として地域図書館を整備します。（令和3年度：建設工事/令和4年度：建設工事）							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	412,000		59,854		19,110	123,260	87,733	35,527
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)	100	-	-					
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)	1	67	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 令和3年度は建設工事に着手しました。</p> <p>・評価 完成に向け、着実な事業進捗を図りました。</p> <p>・課題に対する改善点 各種中学校行事への影響を限りなく少なく出来るよう、今後とも学校側との意見交換を行っていきます。</p>	<p>・現状 令和4年度は建設最終年度となります。</p> <p>・課題 各種中学校行事への影響を限りなく少なく出来るよう努めます。</p> <p>・取組 令和4年12月施設開館に向け、事故等の無いよう円滑な工事進捗を図ります。</p>							

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援および育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	18,458		18,072		4,224	18,588	11,800	6,788
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
ファミリー・サポート・センターの利用実績(件)	4,643	7,579	7,600					
ファミリー・サポート・センターの登録者数(人)	2,194	2,253	2,300					
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 令和3年度は、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者に加えて、未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも対象を拡大し、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成しました。</p> <p>・評価 令和3年度から、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者に加えて、未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも対象を拡大したため、育児の負担軽減を図ることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 対象者を拡大したため、育児の負担軽減を図ることができました。</p>	<p>・現状 令和4年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。</p> <p>・課題 ファミリー・サポート・センター利用助成の登録申請は、窓口のみでの対応としていましたが、多子養育者等からは子どもを連れての申請は負担であるとの声があります。</p> <p>・取組 令和4年度からは、郵送でも取り扱えるように、ホームページ等に掲載して対応します。</p>							

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面接により情報把握を行い作成した支援計画をもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困りごとについての相談に応じ、解決に向けた支援をします。令和3年度からは、産後ケアに「産前産後サポート事業」を新たに加え、多胎児のパパママを対象にグループ形式による多胎児育児経験者との交流等を目的とした教室の開催を市内の助産院に委託し、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	40,334		59,095		59,129	50,929	35,993	14,936
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
妊婦面談率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		96	93	95
乳児家庭全戸訪問実施率(%)	95	94	95	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		83	82	85
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の実績・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>母子健康手帳交付時に専門職による面談を行い、妊娠早期からの情報提供や支援の必要な方の把握に努めました。令和3年度より、「産前産後サポート事業」として、多胎児を妊娠している方やその家族、身近に相談者のいない妊婦やそのパートナーに対する教室等を市内助産院に委託し実施しました。</p> <p>・評価</p> <p>母子健康手帳交付時面談の100%実施により、妊婦に対し早期状況把握及び必要な情報提供や支援を実施しました。「産前産後サポート事業」では、妊婦を対象とした教室を開催し孤立感の軽減を図ることを目的に、地域での仲間づくりを促し、孤立感の軽減を図ることができました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>「産前産後サポート事業」では、新型コロナウイルス感染予防に配慮し出来る限り開催しますが、対面形式による教室への参加が困難な方でも参加いただけるよう、リモートによる教室を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、里帰り出産ができない、家族等からのサポートが受けられないなどの相談がよせられています。また、事業の実施については、感染状況により実施方法を検討しています。</p> <p>・課題</p> <p>支援を要する妊産婦の増加がみられます。コロナ禍においての情報提供や支援体制が脆弱にならないよう、安定した支援の継続が必要です。</p> <p>・取組</p> <p>産前産後に家族等からサポートを受けられない方へ、「育児支援等サービス事業」による家事・育児支援を提供し妊産婦の身体的及び心理面の負担を軽減します。また、「産前産後サポート事業」では、オンラインでの開催も実施します。なお、今年度末には、南流山センター内に「子育てなんでも相談室」を開設し、支援体制の強化を図ります。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	101,209		101,208		2,950	100,453	50,672	49,781
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		12,236	13,546	17,000
送迎バスの台数(台)	8	8	8	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の実績・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図りました。</p> <p>・評価</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策及び速やかな送迎を行うためルートを見直し、保護者の送迎における負担軽減に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実績は例年と比べて減少しましたが、感染拡大防止に努めながら本事業を実施し、保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>待機児童については低い水準を維持しておりますが、本事業が無ければ保育施設への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。</p> <p>・課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保が課題となります。</p> <p>・取組</p> <p>昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	67,575		65,313		1,911	56,505	30,206	26,299
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	4	4	3	利用者数(年度ごと延人数)(人)		19	72	200
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の実績・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>病児・病後児対応型を「オハナゆめキッズハウス」「けやきの森保育園西初石園」「オハナゆめ保育園」の3施設で、病後児対応型を「わらしこ保育園」で実施しました。</p> <p>・評価</p> <p>事業利用者の利便性向上のため、利用のWeb予約を開始しました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一次的に預かりを外傷性の傷病のみに制限していましたが、対象を段階的に拡大しました。</p>				<p>・現状</p> <p>病児と病後児の線引きが曖昧であったため、実施対象を病児・病後児対応型の3施設のみに絞り、継続して事業を実施していきます。</p> <p>・課題</p> <p>預かり対象については段階的に拡大しているものの、なお新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。</p> <p>・取組</p> <p>感染症を拡大することなく、かつ可能な限り多くの方が利用できるような預かり条件について検討を行います。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	19,090		20,570		637	17,914	11,400	6,514
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
改修箇所数(箇所)	2	3	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)		537	521	600
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>東深井保育所においては、空調機の老朽化に伴う更新を実施したほか、給食室にスチームコンベクションオープンを設置しました。</p> <p>江戸川台保育所においては、空調機の老朽化に伴う故障があり、更新を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>公立保育所の全ての建物の耐震改修は終了しましたが、何れも築40年以上の建物であることから、引き続き計画的に長寿命化のための改修を行う必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>東深井保育所及び江戸川台保育所で安全かつ快適に保育ができる環境整備が図られました。</p>				<p>・課題</p> <p>空調機についても設置から15年以上経過しているものも多いため、計画的な更新を行う必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>空調機及びスチームコンベクションオープンについては、計画的に更新及び導入を進めています。空調機については老朽化に伴う機能低下が懸念されることから、さらに計画を早める必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>平和台保育所において、木造棟の空調機の老朽化に伴う更新工事を実施します。また、江戸川台保育所の給食室にスチームコンベクションオープンを設置します。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	2,028,049		2,135,712		9,555	2,585,658	788,388	1,797,270
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
補助施設数(件)	72	87	95	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>私立保育所等87か所に対し、17事業の補助金の交付を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>私立保育園等95か所(予定)に対し、18事業の補助金の交付を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに係る補助を新設することで、保育士の負担軽減と保育の質の向上を図ることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>医療を要する状態にある児童を保育所等が受け入れられる体制整備の構築が必要となっています。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>各補助事業の必要性を検討していく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>医療的ケア児保育支援事業補助金を新設し、医療を要する状態にある児童を保育所等が受け入れられる体制整備の構築を図ります。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所整備補助事業	待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	1,024,082		1,095,188		19,110	972,627	784,919	187,708
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
整備箇所数(か所)	12	8	6	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
整備により増加した定員数(人)	982	740	560					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和3年度、おおたかの森駅周辺地区を中心に8箇所整備し740名の定員増を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和4年度についても、おおたかの森駅周辺地区を中心に、認可保育所560名の定員増を進めます。</p>				
<p>・評価</p> <p>待機児童ゼロを実現出来ませんでした。</p>				<p>・課題</p> <p>多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めます。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

小規模保育事業所整備補助事業	多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	53,140		22,862		19,110	26,890	23,333	3,557
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
整備箇所数(か所)	2	1	1	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
整備により増加した定員数(人)	38	18	19					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 小規模保育事業所は、おおたかの森地区に1箇所を整備し18名の定員増を図りました。</p>				<p>・現状 令和4年度も、おおたかの森駅周辺地域を中心に、小規模保育事業所19名の定員増を図ります。</p>				
<p>・評価 待機児童ゼロを実現出来ませんでした。</p>				<p>・課題 多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点 一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				<p>・取組 質の高い保育を提供する小規模保育事業所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る小規模保育事業所(法人)の整備に努めます。</p>				

児童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課

児童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
教育総務課	110,537		95,919		12,553	162,146	101,923	60,223
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
研修開催件数(件)	1	1	1	児童クラブの延べ利用人数(人)		26,186	28,934	30,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		22,400	26,992	27,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 令和3年度は児童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、経験年数に応じて支援員等に支給する処遇改善にも取り組みました。</p>				<p>・現状 流山おおたかの森地区を中心に子育て世帯の流入が顕著となり、今後も入所希望が増加すると考えられます。</p>				
<p>・評価 全体的な保育の向上を図るために、支援員や補助員を対象とした研修を実施しました。また、支援員や補助員を確保するために、所得の底上げ等の処遇改善を行いました。</p>				<p>・課題 新人の支援員や補助員の保育のあり方について、不安を払拭させるための更なる研修の必要があります。また、支援員や補助員の安定的な確保のために、継続的な処遇改善に努める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルスの影響もありますが、支援員や補助員の保育技術を向上するための研修を積極的に実施します。また、支援員や補助員の安定的な所得の確保のために、引き続き処遇の改善などの支援をしていきます。</p>				<p>・取組 引き続き、支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、児童クラブ運営の質の向上に努めます。</p>				

児童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課

児童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、新たな児童クラブを創設します。また、老朽化している児童クラブの改修工事を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
教育総務課	208,455		157,291		12,553	76,243	52,782	23,461
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
児童クラブの整備後の定員数(人)	3,080	3,240	3,240	待機児童数(3月末)(人)		-	-	-
児童クラブの整備後の施設数(施設)	36	37	37					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 小山小学校第5児童クラブを令和4年4月の開所に合わせて整備しました。</p>				<p>・現状 令和6年4月に開校予定となる2つの小学校内に新たに児童クラブを設置する計画を行います。</p>				
<p>・評価 遅滞なく整備することができました。</p>				<p>・課題 児童推計を踏まえた正確なニーズ調査、学校施設との調整が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点 当該小学校区は人口が増加している地区であり、今後も計画的な整備が必要です。</p>				<p>・取組 令和4年から5年にかけて、児童クラブ創設工事を行います。</p>				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	55,187		39,771		9,555	56,751	0	56,751
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
利用者数(人)	57	115	120	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		63	68	-
協力塾数(件)	34	65	70	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		80	77	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大しました。				・現状 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校2年生及び中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和4年度からは、夏期期間及び冬期期間についても、追加で支援します。				
・評価 令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大したため、生活困窮者世帯の子どもたちが学習塾に通えるようになり、学習への意欲が高まりました。				・課題 利用できる子どもを増やすために、協定塾を増やします。				
・課題に対する改善点 対象者を拡大することができたため、生活困窮者世帯の子どもたちが学習塾に通えるようになり、学習への意欲が高まりました。				・取組 協定塾の負担を軽減するために、報告書等の簡素化に努めます。				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	6,783		6,217		76,162	5,581	2,984	2,597
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
安全確認件数(%)	97	99	99	児童虐待による死亡児童数(人)		-	-	-
研修開催回数(回)	1	2	1	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		70	89	89
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 ・地域において、子どもの見守りや家庭の支援が行われるよう関係機関・団体の会議や研修会に参加し、本事業の取組等について説明しました。				・現状 ・児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向が続いています。 ・地域や関係機関において、児童虐待の早期発見に関する認識は高まっています。				
・評価 ・児童及び保護者と接する機会がある庁内の部署や外部関係機関等を対象に児童虐待防止に係る研修を行い、児童福祉分野以外の職員等に対しても認識を深めることができました。				・課題 ・増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				
・課題に対する改善点 ・迅速かつ適切なタイミングで児童虐待の発見や支援につながるよう、関係機関の会議や研修会に参加し本事業に関する共通認識を深めました。				・取組 ・子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。 ・地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行います。				

青少年の健全育成の促進		主管課：生涯学習課						
青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
生涯学習課	4,906		4,833		3,765	5,253	0	5,253
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
相談件数(件)	81	57	45					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 多様な相談内容に対応できるよう、過年度の相談の傾向を分析し、適切なアドバイスや関係諸機関の紹介を行い、相談活動の充実を努めました。また、定期的にネットパトロールを実施しました。				・現状 相談者が相談しやすい雰囲気づくりや丁寧な聞き取り等で相談活動の充実を図っていますが、相談窓口の性質上、どうしても待ちの状況になりがちです。また、市内でもいろいろな相談窓口があるので、区別化が難しいのが現状です。				
・評価 センターだよりへ相談案内を積極的に掲載し、相談窓口を広く周知することで、より多くの相談機会を提供しました。また、相談内容をより丁寧に聞き取ることで、相談者の悩みや不安が改善するよう支援しました。				・課題 相談者の悩みの解決が図れるよう、相談内容によって関係諸機関を紹介していますが、紹介までに留まりがちなので、確実に繋いでいけるよう連携を強化していきます。				
・課題に対する改善点 個々の相談への対応については、全体的に充実を図ることができましたが、学校や関係諸機関との積極的な連携に課題が残りました。				・取組 令和4年度は、より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、休日に特別相談窓口の開設を予定しています。また、関係諸機関への紹介だけでなく、紹介後の状況についても情報提供をしてもらい、継続的な支援を可能にしていきます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	68.5 65.3	実施なし	71.0 64.0	%	
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	11,317 4,435	11,775 4,605	12,356 4,750	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月）※小学校、中学校	3,003 466	3,037 315	5,765 594	件	↓

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 6月と11月に「いじめ認知アンケート」を行い、その後、児童生徒との面談を行いました。全国学力・学習状況調査の分析方法について、教務主任研修会を行いました。</p>	<p>・現状 児童数の増加といじめの積極的な認知に伴い、いじめ認知件数は、毎年増加しています。全国学力・学習状況調査の分析方法と活用方法について、教務主任研修会を行い授業改善につなげます。</p>
<p>・評価 小さなトラブルでも、いじめの根源と考え、積極的に認知を行い、トラブル解消に努めてきました。今後も迅速に対応していきます。全国学力・学習状況調査の分析を行い、分析結果を授業改善に活用することができました。</p>	<p>・課題 積極的にいじめ認知を行い、早期発見、早期解決につなげることが課題です。全国学力・学習状況調査の結果を細かく分析して授業改善に役立てることが必要です。</p>
<p>・改善点 小さなトラブルでもいじめと積極的に認知しているため、実数は増えています。いじめは、根の小さいうちに迅速に対応する必要があります。全国学力・学習状況調査の結果を細かく分析できるように研修する必要があります。</p>	<p>・取組内容 6月、11月の「いじめ認知アンケート」で認知するだけでなく、いじめを未然に防ぐために、いじめについての特別授業を小学校、中学校で行います。全国学力・学習状況調査の分析方法と活用方法、効果的なICT教育について、教務主任研修会を行い授業改善につなげます。</p>

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校英語活動推進事業		令和3年度当初予算							令和3年度決算見込			R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
担当課	指導課	R2実績		R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標								
		8		9	11	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるALT等の活用状況（%）			-	90	92								
		9,758		10,437	11,830														
令和3年度の取組みと評価・改善点											令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手(ALT)を8名、英語活動指導員を21名雇用し、全小学校に配置しました。</p>											<p>・現状 英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手(ALT)を10名、英語活動指導員を21名雇用して全小学校に配置し、小学校3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整えます。</p>								
<p>・評価 学級担任と効果的なチームティーチングを行えるよう、英語活動指導員スーパーバイザーを中心とした研修体制を構築しました。</p>											<p>・課題 学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動とICTの活用を踏まえた研修を充実させます。</p>								
<p>・課題に対する改善点 学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動のさらなる充実を目指します。</p>											<p>・取組 外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手(ALT)の研修を年複数回実施します。</p>								

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校教育指導運営事業		令和3年度当初予算							令和3年度決算見込			R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
担当課	指導課	R2実績		R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標								
		1		1	1	小学校図書貸出冊数(11月)(冊)			23,980	25,400	25,700								
		17,860		16,912	11,295	20,698		0	20,698										
令和3年度の取組みと評価・改善点											令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを配置しています。令和2年度から司書を1人増員しました。</p>											<p>・現状 令和3年度から司書を1人増員しています。</p>								
<p>・評価 学校図書館司書リーダーの配置により、各学校間での情報交換や連携、司書のスキルアップにつながりました。学校図書館司書の配置により各学校の読書活動が推進されました。</p>											<p>・課題 学校図書館リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。1校に1人の司書の配置に向け、研修していきます。</p>								
<p>・課題に対する改善点 文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研修していきます。</p>											<p>・取組 学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、児童の読書活動を推進していきます。</p>								

確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部						
中学校 A L T 配置事業	外国語指導助手（ALT）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	36,285		36,499		20,770	40,319	0	40,319
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
中学校 A L T 配置数(人)	9	9	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)における A L T 等の活用状況(%)		-	61	70
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 外国語指導助手(ALT)を9名、中学校全校に配置しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 外国語指導助手(ALT)を10名、中学校全校に配置します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 コミュニケーション能力を育成するため、生徒が日常的に英語に触れる機会の充実を図ることができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 ティームティーチングによる授業作りを推進するとともに、新学習指導要領の理解を深め、さらにICTの活用を充実させます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 新学習指導要領における評価方法、ICTの活用における研修を充実させます。				

確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部						
中学校教育指導運営事業	生徒の読書教育推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	12,535		11,875		5,020	14,995	0	14,995
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1	1	1	中学校図書貸出冊数(11月)(冊)		1,017	19,468	19,700
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを配置しています。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 令和3年度から司書を1人増員しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 学校図書館司書リーダーの配置により、各学校間での情報交換や連携、司書のスキルアップにつながりました。学校図書館司書の配置により、各学校の読書活動が推進されました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 学校図書館司書リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校図書館司書リーダーにより、経験雄浅い学校図書館司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、生徒の読書活動を推進していきます。				

確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部						
地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	7,513		6,080		5,500	7,947	4,986	2,961
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市内各中学校区本部設置数(校)	9	9	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		43,357	51,603	60,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 市内全中学校区に地域学校協働本部を立ち上げ、コーディネーターを25名配置し、活動しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 学校支援コーディネーターを25名配置し、各学校や地域の実態に応じて、コーディネーター25名を中心に地域学校協働活動を実施しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 コーディネーターの尽力により、ボランティアの人員や活動内容を充実させることができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 令和4年度は新たに2中学校区でコミュニティ・スクールの導入が予定されているので、協働活動との連携を推進していくことが課題です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 ボランティアによる活動は新型コロナウイルス感染症対策のため、これまで行えた活動ができない場面もありましたが、各学校それぞれ工夫をして活動を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校支援コーディネーターのサポートとコミュニティ・スクール導入の推進に取り組んでいきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

ICT学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	432,751		425,530		8,208	453,077	4,330	448,747
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	16,858	16,995	17,867	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		0	1	1
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>教科学習において、タブレット端末のインターネット機能やアプリの「ミライシード」等を活用し、情報の取得や児童生徒同士の交流の推進を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>学習指導において、児童生徒への教材の提示や、児童生徒同士で思考を比較検討する際などに活用を行っています。</p>				
<p>・評価</p> <p>タブレット端末の積極的な活用を通して、教師・児童生徒の情報リテラシーを飛躍的に向上させることができました。</p> <p>教師、児童生徒の情報モラル向上に資することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>同時に多数のタブレット端末を使用すると通信状況が滞り、教職員の校務や児童生徒の学習に支障が生じます。これについては、GIGAスクール構想業務委託事業の構内LANの増設により対応予定です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>Web会議システム (teams) やミライシード等の情報ツールを活用していく上での留意事項や活用事例を収集し、分析、共有を行っていくことで、GIGAスクール構想の具現化に努めていきます。</p>				<p>・取組</p> <p>今年度も、昨年度までに引き続きオンライン配信や、学習指導において活用を行っています。今後も1人1台端末の積極的な活用を進めていきます。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

給食室等改修事業	長崎小学校の給食室を建替えて、児童数増加に対応するとともに、10校分の調理室へのエアコン設置を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	9,059		280,404		23,029	132,120	102,837	29,283
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
調理場へのエアコン設置学校数	2	2	10	長崎小学校調理場建替え工事の進捗率(%)		2	5	100
				調理場への空調設備整備率(%)		23	47	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>八木北小学校給食室の増築及び南流山小学校・八木中学校給食室にエアコンを設置しました。長崎小学校給食室の建て替え工事を実施しています。</p>				<p>・現状</p> <p>長崎小学校給食室の建替え工事及び10校分の給食室エアコン設置工事を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>八木北小学校給食室増築及び給食室エアコン設置について、令和4年度に供用開始することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和5年度の供用開始に支障がないよう、工事を進める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>長崎小学校給食室建替え工事について、令和5年度から供用を開始することから、工事が遅れないよう工程管理をする必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>発注者、監理者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設中学校建設事業	おおぐろの森小学校の開校及び、小山小学校の児童数増加により、進学先となる中学校の需要増に対応するため、おおぐろの森中学校を令和4年4月に開校しました。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	4,700,667		5,765,110		19,110	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				建設工事の進捗率(%)		-	100	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>工期の短縮に向けて、工事関係者と具体的な対策について協議を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>事業は令和3年度に完了しました。</p>				
<p>・評価</p> <p>施工者と十分な調整を図ることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>事業は令和3年度に完了しました。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>オンライン協議も取り入れるなど、遅滞なく工事を進め「おおぐろの森中学校」を開校できました。</p>				<p>・取組</p> <p>事業は令和3年度に完了しました。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

八木北小学校校舎等建設事業	八木北小学校の児童数増加により、教室が不足することから、令和2年度に校舎増築を終えました。併せて既存校舎の改修を令和元年度からの継続事業として実施します。また、給食室・屋内運動場（体育館）についても、児童数増加に対応するための増築工事を令和2年度からの継続事業として実施しました。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	10,820		236,649		12,740	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				既存校舎改修工事の進捗率(%)		-	100	-
				屋内運動場増築工事の進捗率(%)		-	100	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 居ながら施工となることから、関係者間の十分な協議を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 学校現場の協力を得て、安全を確保して施工することができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 夏休み等の学校長期休業中に集中して施工しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 事業は令和3年度に完了しました。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設小学校（おおたかの森地区）建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に（仮称）市野谷小学校の建設を進めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	99,990		59,996		19,110	1,297,102	1,188,807	108,295
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				設計業務の進捗率(%)		10	37	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 パブリックコメントを実施し、基本設計を策定しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 実施設計の策定を進めています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 広い分野から意見をいただくことができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 基本設計に基づき実施設計の策定が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 設計業務委託者と協議をし、進捗状況を管理していきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設中学校（大呷地区）備品整備事業	令和4年4月に開校を予定しているおおぐろの森中学校に必要な教育備品（校具用、各教科用）を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	260,000		195,453		4,459	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
教育委員会関係部署との打合せ回数(回)	-	12	-	備品の充実割合(%)		-	100	-
入札不調件数(件)	-	-	-					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 スケジュール管理のもと、必要な教育備品の入札を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 必要な備品を予算内で購入し、適正な事務を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 必要な教育備品数や仕様書の精査が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 事業は令和3年度に完了しました。				

教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部						
新設中学校（大畔地区）整備事業	令和4年4月に開校を予定している大畔地区新設中学校に必要な教材消耗品（各教科用、保健用、施設用）等を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
教育総務課	28,685		22,958		6,370	2,250	0	2,250
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
入札件数(件)	-	9	-	消耗品の充実割合(%)		-	91	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和4年4月に開校した大畔地区新設中学校に必要な教材消耗品（各教科用、保健用、施設用）等を整備しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 開校後、学校運営や授業等を行っていく中で、不足している教材消耗品等があることが判明しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年4月の開校までに、予定していた全ての消耗品を遅滞なく整備することができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 学校運営や授業等に支障のないように、不足している教材消耗品等を整備する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 入札により購入を予定していた消耗品以外に、追加で購入した消耗品があったことから、より綿密に必要な消耗品の把握に努める必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 開校後に、学校運営や授業等を行っていく中で必要となった教材消耗品等を整備します。				
教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部						
南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転する整備を進めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	154,562		49,495		16,659	369,095	318,259	50,836
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				設計業務の進捗率(%)		1	25	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 パブリックコメントを実施し、基本設計を策定しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 実施設計の策定を進めています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 広い分野から意見をいただくことができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 基本設計に基づき、実施設計の策定が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理していきます。				
教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部						
新設小学校（南流山地区）改修事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	0		0		6,370	16,991	12,700	4,291
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				設計業務の進捗率(%)		-	-	100
				改修工事の進捗率(%)		-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和4年度開始事業となります。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年度開始事業となります。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和4年度開始事業となります。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理していきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

担任サポート教員配置事業	学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	64,415		27,438		3,185	49,669	0	49,669
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
担任サポート教員配置数(人)	-	12	12					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和3年度から国の学級編成基準の変更により、小学校2年生以降の1学級あたり人数が段階的に40人から35人と変更となったため、児童生徒数が基準を上回る学級について、適正な人員配置を努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和4年4月12日現在の児童・生徒数・学級数から、令和4年度は配置人数の増減はありません。</p>				
<p>・評価</p> <p>適正な配置人数である12名を確保しました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>当初19名の配置を予定していましたが、国の学級編成基準の変更により、7名の配置が必要なくなりました。</p>				<p>・取組</p> <p>児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

南流山中学校移転先用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	231,157		226,530		6,370	582,384	572,418	9,966
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				用地取得率(%)		-	-	-
				建物取得率(%)		-	31	59
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>建物の一部を取得しました。</p>				<p>・現状</p> <p>中学校移転のため、建物を取得します。</p>				
<p>・評価</p> <p>財産活用課と情報を共有し進めることができた。</p>				<p>・課題</p> <p>財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>引き続き、売買交渉を総務部財産活用課と連携し、実施していくことが必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

子ども専用いじめホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTOP it」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	6,875		6,847		4,402	7,330	0	7,330
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	14	15		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		91	84	100
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	29	29		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		100	93	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>子ども専用いじめホットライン相談窓口周知のために、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配布しました。中学生は、いじめ報告相談アプリも加え、悩みの早期発見と早期対応に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>生涯学習センター内の教育研究企画室に3名の相談員が常駐し、相談を受けています。コロナ禍により相談のニーズも多様化しておりいじめ相談だけでなく、子どもの悩み事の相談に幅広く対応しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し、相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き相談窓口の周知に努めていきます。</p>				<p>・課題</p> <p>コロナ禍により、人間関係が希薄化し、相談も多様化しています。そこで、いじめだけに特化せず、幅広く相談を受ける必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>いじめ相談窓口の更なる周知徹底をはかり、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるように努めました。</p>				<p>・取組</p> <p>小中学生なやみホットラインと名称を変更し、子ども達の悩みの相談を幅広く受けることができるようにしました。ポスターやリーフレットを作成して、子どもたちへの周知を図っていきます。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーQ.U（学級集団アセスメント）検査を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	23,260		28,034		8,205	23,240	0	23,240
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
小学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	3,037	5,765		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		91	84	100
中学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	315	594		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		100	93	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめや虐待などに迅速に対応しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、指導主事を配置したいじめ対策室が、学校や関係機関と連携し、いじめ防止、児童生徒の問題行動、虐待、への対応を行っています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 児童生徒向けのいじめ授業や教員向けのいじめ防止授業を実施するなど、いじめに対する理解を深めました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 いじめの未然防止に努めるために、児童生徒だけでなく、保護者、教員へのアプローチをする必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 スクールロイヤーの訪問授業や教員研修を計画的に実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 スクールロイヤー等によるいじめ防止に向けた教員への指導を行います。また、保護者には、リーフレット等を通していじめ防止の啓発活動を行います。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校給食施設管理事業	学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食設備の点検・清掃及び害虫駆除等を行うことにより、安定的な給食の提供と衛生管理の徹底を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	118,236		116,326		3,087	127,765	0	127,765
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
給食設備・機器の点検実施回数(回)	275	275		- 学校給食における食中毒発生件数(件)		-	-	-
施設・設備の清掃等実施回数(回)	121	121		- 保健所巡回による1校当たりの衛生管理指導事項数(件)		-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 消耗品や備品の整備、給食設備の点検・清掃及び害虫駆除等を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 令和3年度のみ主要事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 計画に沿って入札や予算の執行を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 令和3年度のみ主要事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 消耗品等の整備や給食設備の点検・清掃等の実施により、衛生管理を徹底し、安心安全な給食の提供をできるよう努めます。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 令和3年度のみ主要事業				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	24,769		17,702		19,763	23,146	1,781	21,365
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	10	医療的ケア児の対応(時間)		714	2,245	2,300
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 毎学期、サポート看護師の連絡会議を設け、取り組みや状況について報告を聞いています。市内の医療的ケアを要する児童のサポート看護師を対象とした研修会を設定し、誰もが応急処置をできるようにしています。養護教諭が主体となって、サポート看護師との打ち合わせを綿密に行っています。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 児童生徒の病気や怪我に対する医療的な処置をはじめ、医療的ケア児の健やかな成長を図るための支援を行っています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、医療的な処置や生活習慣に関する援助・助言を行っています。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 増加する医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるような教育体制の拡充に努めます。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づく医療的ケア児の健やかな成長を図るための教育体制の構築に努めます。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 医療的ケア児についての情報や対応等について、サポート看護師が共有し研鑽を積めるよう、連絡協議会や研修会を開催します。				